

(一財)食品産業センター 環境委員会 NEWS

No.63

平成28年10月25日発行

<http://www.shokusan.or.jp/kankyo/committee/index.html>

(一財)食品産業センター環境委員会 事務局 加藤・渡邊

TEL:03-3224-2384/FAX:03-3224-2398

Mail : m-kato@shokusan.or.jp

=====

賛助会員各位

日頃より(一財)食品産業センター 環境委員会の活動にご理解とご協力賜り誠にありがとうございます。
ございます。

この度、農林水産省食品産業環境対策室より、下記のとおり「食品容器包装の高機能化事例に係る
情報提供のお願い」がきておりますので、ご協力をお願い申し上げます。

配信記事

食品容器包装の高機能化事例に係る情報提供のお願い

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、近年、食品ロスの削減への関心が高まる中、食品容器包装の高機能化による賞味期限を延長な
ど、包装技術の活用が食品ロスの削減につながる事例が増加しています。しかしながら、このような取
組に対する消費者への認知度は、必ずしも十分であるとは云えません。

そのため、農林水産省では、これら事例を消費者向け等に広く啓発し、それら食品企業の取組を推進
することとしております。

つきましては、下記「**食品ロス削減のための容器包装の高機能化の例**」を参考に、食品容器包装の高
機能化の取組に係る御社の商品に関して別紙様式の取組事項を記載頂くとともに、当該商品に関する資
料（営業パンフレット等）、写真（画像ファイル）をご提供頂きますようお願いいたします。

いただいた情報は、担当者情報などを除き、事例集として公開することとしています。なお、公開に
当たっては内容をご相談させていただきます。

※食品ロス削減のための容器包装の高度機能化の例

賞味期限の延長、小分け包装、容器内残渣の減少、流通時の損傷軽減など、幅広く情報
提供下さい。

※環境委員ニュースは、メール又はFAXで配信しています。FAX版は、添付資料等により送付数が多くなること
や、内容を当方より指定させていただいたURLにて別途ご確認をお願いすることがございます。そのため、
出来るだけメール配信といたしたく考えます。現在、FAXで配信させていただいている方で、メール配信にご変
更いただける方は、事務局までご連絡をお願いします。

団体向け（照会依頼元）

平成28年10月25日
農林水産省食品産業環境対策室

食品容器包装の高機能化事例に係る情報提供のお願い

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃、農林水産省の環境行政にご理解、ご協力をいただき、御礼申し上げます。

さて、近年、食品ロスの削減への関心が高まる中、食品容器包装の高機能化による賞味期限の延長などが、包装技術の活用が食品ロスの削減につながる事例が増加しています。しかしながら、このような取組に対する消費者への認知度は、必ずしも十分であるとは云えません。

そのため、農林水産省では、消費者向け等に広く紹介し、これら事例の認知度を高めることで、食品企業の取組を推進することとしております。

つきましては、貴団体の会員企業等に対して、食品容器包装の高機能化の事例について、ご照会頂きますようお願い申し上げます。

なお、ご照会頂きました会員企業等の皆様からの情報提供は、当室あてに直接、電子媒体にてお送り頂くこととしておりますので、ご承知おき下さい。

【お問い合わせ】

農林水産省食料産業局バイオマス循環資源課食品産業環境対策室

電話：03-3502-8499 FAX：03-6738-6552

（担当者）宮田、二井（にい）

E-mail：yuichi_miyata650@maff.go.jp

会員企業等向け

平成28年10月25日
農林水産省食品産業環境対策室

食品容器包装の高機能化事例に係る情報提供のお願い

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃、農林水産省の環境行政にご理解、ご協力をいただき、御礼申し上げます。

さて、近年、食品ロスの削減への関心が高まる中、食品容器包装の高機能化による賞味期限の延長などが、包装技術の活用が食品ロスの削減につながる事例が増加しています。しかしながら、このような取組に対する消費者への認知度は、必ずしも十分であるとは云えません。

そのため、農林水産省では、消費者向け等に広く紹介し、これら事例の認知度を高めることで、食品企業の取組を推進することとしております。

つきましては、別葉の参考をご覧頂き、食品容器包装の高機能化の取組に係る御社の商品に関して、別紙の取組事例を記載頂くとともに、当該商品に関する資料（営業パンフレット等）、写真（画像ファイル）をご提供頂きますようお願いいたします。

いただいた情報は、担当者情報などを除き、事例集として公開することとしています。

なお、公開に当たっては、事前にその内容をご相談させていただきます。また、ご提供頂いた情報に含まれる個人情報、法令で定める場合を除き、明示した利用目的の範囲内でのみ利用するとともに、本人の同意なしに第三者への提供は行いません。

情報提供の締め切り 平成28年12月9日（金）

【お問い合わせ・情報提供先】

農林水産省食料産業局バイオマス循環資源課食品産業環境対策室

電話：03-3502-8499 FAX：03-6738-6552

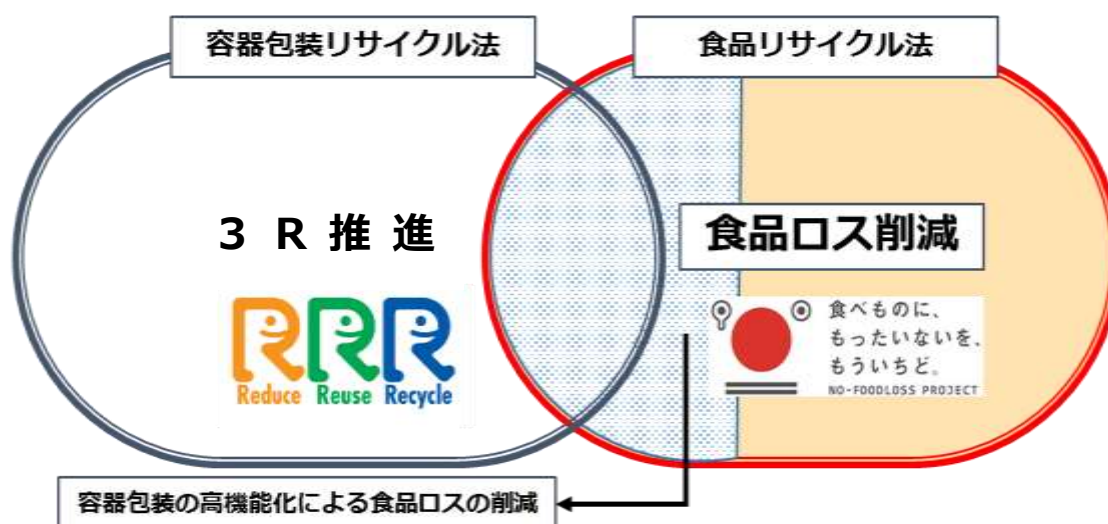
（担当者）宮田、二井（にい）

※ 取組事例、資料等は以下のアドレスまで直接お送りください。

E-mail：yuichi_miyata650@maff.go.jp

容器包装の3Rと食品ロス削減の関係

- 容器包装リサイクル法と食品リサイクル法は食品分野において関連
- 食品容器包装の高機能化による内容物の賞味期限の延長、流通途上での廃棄抑制、製造工程の改善等は、食品ロス削減に貢献。



1

この容器包装の3Rと食品ロス削減は、一見、違うテーマとも思えますが、容器包装を高機能化することによって食品ロスが減らせるという点では、密接に関係しています。

容器包装の3Rとは、容器包装自体を減らすということを思い浮かべますが、製品全体の環境配慮を考えると容器包装は減らないが、高機能化により食品ロスは減る、環境の負荷は減るという考えがあります。

当然、容器包装の3Rに取り組むという前提の上で3Rからはみ出した食品ロス削減の取組についても、推進していきたいと考えております。

今回、皆様方からは、この図の水色部分にあたる取組、具体的には、賞味期限の延長、小分け包装、容器内残渣の減少、流通時の損傷軽減など、幅広く情報提供下さい。

記入例

食品容器包装の高機能化に係る取組事例 (食品製造事業者用)

■ 商品情報

食品企業名	〇〇食品株式会社
商品名	NEW〇〇 500mL
容器包装・素材	〇〇容器・プラスチック

■ 取組情報

取組事例（該当する取組に○を付けて下さい。） (○) 密封機能の採用・包装材の変更・酸化防止機能の採用による賞味期限の延長 () 小分け包装による食品ロスの削減 (○) その他（内容物の使い残しを減少させる容器内面層の変更）	
取組内容	〇〇容器を多層構造に酸素吸収層を挟み込むことによって、外部から透過した酸素も吸収する高い酸素バリア性を実現。 〇〇容器の内面層に〇〇を採用し、商品残渣を減少。
効果	（賞味期限延長） 製造工程の見直しや配合変更などの取組と併せて賞味期限を6ヵ月から12ヵ月に延長。 （家庭での食品ロス削減） 〇〇容器の内面層に〇〇を採用し、商品残渣を減少させ使い切りを実現。
採用時期	28年1月～
今後の展開	全ての〇〇容器に拡大予定
商品のPR手法	食品企業HP、CSR報告書、営業パンフ
容器包装納入企業	〇〇製罐、〇〇容器工業

■ 担当者情報

担当者名	宮田 雄一（みやた ゆういち）
担当部署／役職	食料産業局バイオマス循環資源課／係長
TEL／FAX	03-3502-8499／03-6738-6552
E-mail	yuichi_miyata650@maff.go.jp

記入用

食品容器包装の高機能化に係る取組事例
(食品製造事業者用)

■ 商品情報

食品企業名	
商品名	
容器包装・素材	

■ 取組情報

取組事例（該当する取組に○を付けて下さい。） ☐ 密封機能の採用・包装材の変更・酸化防止機能の採用による賞味期限の延長 ☐ 小分け包装による食品ロスの削減 ☐ その他（ ）	
取組内容	
効果	（賞味期限延長） （家庭での食品ロス削減）
採用時期	
今後の展開	
商品の PR 手法	
容器包装納入企業	

■ 担当者情報

担当者名	
担当部署／役職	
TEL／FAX	
E-mail	